

# 常任委員会

3部会各々で徹底調査

## こんなことを聞きました

### 常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

#### 総務委員会

総合計画、広報、財政、DX推進、税務庁舎管理、選挙、防災、戸籍等に関すること

#### いづもぶくし委員会

学校教育、保育園、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関すること

#### まちづくり委員会

交通安全、防犯カメラ・啓発、コミュニティ、ごみ、環境、農業、消費生活、観光都市計画、バス、公園、建築、道路、河川防犯灯、上下水道等に関すること

### いづもぶくし委員会

の解決につながるか。  
A 多くの人の解決の助けになる。

### 共助版ライドシェア

#### 「ウラ・うらら」<sup>①</sup>で移動支援

Q 共助版ライドシェアの認識は。

A 町地域福祉計画の重点プロジェクト。各コミュニティに合ったものが必要。

Q 安全な移動の保障担保は。

A 制度設計の中で検討していく。

Q 長期的に持続可能な地域交通

### 胃内視鏡で胃がんの早期発見を実現

Q 胃内視鏡検査の検診間隔を2年に1回とした理由は。

A 効果が期待できるとされ、国の指針も同様に定められたため。

Q 自己負担額5700円の根拠と無料対象者は。

A 委託料の約3割で設定。70歳以上、住民税非課税世帯等が無料。

### まちづくり委員会

#### 町運行バス「うらら」運賃見直し

Q 見直しの目的と運賃案2000円の根拠は。

A 運転士不足で「うらら」の運行維持の困難が予想される中、「ウラ・うらら」等の新たな移動サービスを踏まえた適切な負担の在り方を検討するもの。

運賃は決定事項ではないが、地域公共交通会議で検討し、意見を集約した結果である。

Q ダイヤの充実を図る予定は。

A 運転士不足が懸念される中、増便の予定はない。

Q 「ウラ・うらら」の位置づけは。

A 福祉的観点から「うらら」を利用しづらい方への移動サービス。

#### 於大の方生誕500年を盛り上げる

令和10年は、徳川家康の母「於大の方」生誕500年の記念すべき年。於大の方の功績を次世代に引き継



▲於大の方関連イベントで東浦町の魅力をPR

ぐとともに、まちのにぎわいの創出を図り、住民のシビックプライドの醸成を図る。

Q 事業費の内容は。

A 於大のみち再整備計画策定業務委託料、於大のみち再整備工事於大の方生誕500年記念ロゴマークの作品募集の賞賜金、於大まつり推進協議会負担金、於大の方生誕500年企画展の印刷製本費、会場設営業務委託料、美術品運送業務委託料、郷土資料館施設改修工事、工事管理委託料である。

Q 於大の方生誕500年プロジェクトチームに住民等を公募する考えは。

A 町役場の部課を超えて編成される一時的な組織のため、現時点で職員以外を入れる考えはない。町全体で盛り上げていくことが求められるため、幅広い視点から意見をいただき、その内容をチームで検討する体制を確保していく。

①「ウラ・うらら」…地域住民が行政・交通事業者と連携しながら、地域に必要な送迎の仕組みをつくり、誰もが気軽に移動できるまちづくりを目指すプロジェクト

語句説明

一般会計  
当初予算  
**役場窓口で  
キャッシュレス決済を導入**

証明書手数料や刊行物等の支払いにキャッシュレス決済を導入することで住民の利便性向上を図る。予算額は187万円。住民課、税務課、環境課、行政課、行政サービスコーナーに設置される。

**Q 導入の目的は。**

**A** 現金決済だけに頼らない新たな決済環境を整備し、住民の日常生活における利便性向上を目指す。

**Q 高齢者やキャッシュレス決済に不慣れた住民への対応は。また、現金との併用は可能か。**

**A** 職員の声かけや、さまざまな決済方法が使えるように対応する予定。現金との併用は可能。

一般会計  
当初予算  
**職員の働き方改革  
空間計測ツールを導入**

システム使用料は66万円。土木関連の修繕工事や公共施設の維持管理に活用する。

**Q 空間計測ツールの導入目的、どのような機器を使用するか。**

**A** 測量時間の短縮や現場での立会い時間の削減が期待でき、熱中症対策効果もあると考えている。赤外線センサー機能を備えたタブレットの導入を予定している。

一般会計  
当初予算  
**防災備品購入品として  
インスタントハウス<sup>①</sup>を導入**

**Q 防災の備品購入費について、福祉避難所の直接避難関係以外で購入予定の備品は。**

**A** ユニバーサルタイプのトイレカー1台と屋内・屋外インスタントハウス1基を購入予定。

インスタントハウスについては、能登半島地震の際にも設置された実績があり、今後、協定の締結等により、優先供給が受けられる体制の構築を図っていききたい。



▲インスタントハウスで避難環境を改善

①インスタントハウス…モンゴルの移動式住居「ゲル」のような外観で、短時間で快適な環境をつくることができ、災害時の快適な避難環境の整備につながる。

語句  
説明



**傍聴席の耳と目**  
傍聴された方にアンケート

傍聴された方にアンケート用紙を配付し、ご意見・ご感想を聞きました。今定例会では18名に回答いただきました。一部を要約して紹介します。

ライブ配信はとて面白いと思いますが、議場への傍聴者の減少(今でも少ない)が懸念されます。

議場暑い。クリアパネル必要ないと思う。親しみやすい雰囲気をもっと欲しい。

閲覧冊子の事業紹介は、見やすくまとめられていて良い。持ち帰りできるとありがたいです。

**LIVE** 定例会のライブ配信が始まりました。お気軽にご覧ください。「面白い」と感じた方は、ぜひ生の会議も見に来てください。

**ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！**

いただいたご意見・ご感想は、議会事務局だけでなく、議員と町当局にも共有しております。ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！次の定例会日程は裏表紙でご確認ください。



12/22  
㊦ **書かない窓口を体験しました**

現在、役場本庁舎1階にある「書かない窓口」について、導入前のデモンストレーションに全議員で参加しました。操作方法や手続きの流れについて説明を受け、実際の利用イメージを確認しました。

3/8  
㊦ **ペイントトラックお披露目式に参加しました**



東浦町内の小学生の書いた夢や於大公園、特産品のぶどうがプリントされたペイントトラックが完成し、お披露目式で議長がテープカットを行いました。

**議会トピックス**  
GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！  
議会の動き